

科学技術振興プログラム



留学研修修了生

借款概要

承諾額/実行額	6,067百万円/5,731百万円
借款契約調印	1988年10月
借款契約条件	金利2.7%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1997年11月

事業概要

留学生派遣のための資金を円借款で支援することにより、科学技術者の育成を行い、もって同国の工業開発を促進するもの。

評価結果

本事業では、プログラム修了者数は当初計画数よりも約4割上回った。学位別では、博士課程が派遣達成率76%、修了率48%と最も低く、派遣から2年以内に博士課程を修了することの困難さが伺える。他の学位及び短期研修についてはいずれも計画以上の留学生を派遣し、修了率、帰任達成率とも概ね9割以上と高い。この結果、6政府系研究機関全体で本事業開始前の1989年時点と比較して、博士の数は3.79倍、学士は3.63倍、修士は1.67倍へとそれぞれ増加した。

また、派遣元の政府機関及び派遣経験者に対し本事業の成果等につき調査を実施したところ、概ね高い評価を得た。

実施機関によれば留学経験者は、帰任後には全員公務に従事しており、それぞれ留学研修を通じて得た知識・技術を生かす業務に携わっているとのことである。教育効果の持続性・自立発展性の観点からも、留学経験者の存在を活用することで、高度教育の国内移転システムを整備し、同国全体の知識・技術水準を高めていくことが目的達成への近道となろう。